

化石から読み解く恐竜の進化

国立科学博物館には多くの展示物がありますが、とりわけ恐竜の化石は迫力があり、ロマンを感じますね。最初の恐竜が出現した中生代の三畳紀は、地球上の大陸がほぼつながった超大陸パンゲアの時代でした。そのため、恐竜は一気に世界中に分布を広げることができたのです。恐竜の化石をみながら、この時代の様子をイメージしてみましょう。



地球館の1階は、地球の歴史が一望できるような展示物が周りを取り囲んでいるよ。恐竜が栄えたのはどの時代だろう？



地下1階に下りよう

地球

館

1階

5

タイムラインステージ



1

〇〇〇の化石 大きな恐竜に会いにいこう



フロアーの中央にある恐竜骨格の展示物には、どのようなエピソードがあるのだろう。



この恐竜骨格にはどのような特徴があるのだろうか。正面から見たり、横から見たり、後ろから見たりして観察し、気付いたことをあげてみよう。



とても大きな恐竜ですね。どんな恐竜だったのか想像をふくらませよう。

地球

館

B1

階

入口左

恐竜学入門 発見から復元まで



2

バンビラプトルの化石からわかること



バンビラプトルが鳥類に近いことは、どのようなことからわかったのか。



小さな恐竜ですね。どのように生活していたのか想像をふくらませてみよう。

ヒントは地下1階の入口付近の展示の説明にあるよ。



奥に進もう

ティラノサウルスの奥でシチパチの骨格標本の前へ

展示の近くにあるビデオガイド「羽毛の進化と鳥類的な生態の進化」も見てみよう



地球

館

B1

階

入口左

獣脚類の小型化
鳥類への進化



3

恐竜にあらわれた羽毛がもたらしたもの



恐竜の段階で羽毛が進化していったことが明らかになっているが、羽毛がもたらしたものは恐竜にとってどのようなことだったのだろうか。



もし、羽毛がなかったら、恐竜の進化はどのようにになっていたかを想像してみよう。



恐竜は現在の地球でも生きられたらどうか？
その理由も考えよう。



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名